

令和5年度 学習分析事業 改善計画 三原市立久井小学校

1. 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	前年度結果 偏差値平均	/	48.5	49.1	56	50	50.9
	本年度結果 偏差値平均	46.6	50.1	48.8	56	49.6	50.2
算数	前年度結果 偏差値平均	/	47.1	48.8	52.6	46.7	48.8
	本年度結果 偏差値平均	48.9	50.5	48.7	52.1	48.4	49.7
理科	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	53.1	47.4	50
	本年度結果 偏差値平均	/	/	46.9	54	46.5	49.1
全体	前年度結果 偏差値平均	/	47.8	49	53.9	48	49.7
	本年度結果 偏差値平均	47.7	50.3	47.9	54.1	47.6	49.5

③全国学力・学習状況調査 正答率平均

教科	国語	算数
前年度結果 (対県比)	78 (116)	65 (101)
本年度結果 (対県比)	67 (97)	57 (89)

2. 調査から明らかになった課題

【年度当初の学力について】(NRTをうけて)	【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)
<p>●国語科…2年「作文を読む15%」「聞き取りの応答26%」3年「片仮名18%」「物語の心情読み取り56%」4年「説明文・段落内容理解31%」「物語文・文章からの考察28%」5年「聞き取り・内容の理解67%」6年「物語文・場面の読み取り29%」「聞き取り・役割の理解46%」多くの学年で長文読解や聞き取り・応答の問題に課題がある。</p> <p>●算数科…2年「式の読み取り・減法48%」「数直線上の数22%」3年「ひっ算式の完成・加法39%」「計算のくふう42%」4年「円と外接する長方形10%」「数直線・分数42%」5年「面積から長さを求める11%」「3直角33%」6年「比例の関係の理解58%」「小数÷小数58%」領域にばらつきがあるが、どの学年も思考・判断・表現に課題がある。</p> <p>●理科…4年「重さ比べ・ゴムの玉34%」「水に浮かべた磁石38%」5年「テントウムシの冬の姿33%」6年「気象写真・雲の動き28%」「砂や石の堆積する場所24%」知識として覚えていても思考・判断・表現の観点の問題に課題がある。</p>	<p>●国語科…3,4年 Cウ, 5年 Cオ</p> <p>・目的を意識して中心となる話や文を見つけて要約することができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国90本校79.2)</p> <p>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国56.2本校41.7)</p> <p>●算数科…3年 A(3)ア(ア), A(5)ア(イ), 4年A(4)ア(エ)イ(ア), A(6)ア(ア), A(7)ア(ア)</p> <p>・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国80.8本校66.7)</p> <p>・示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかを見る設問に課題がある。(全国56.7本校29.2)</p> <p>・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかを見る設問に課題がある。(全国72.4本校62.5)</p>

3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

(※毎月のブロック訪問や授業研で参観させていただきます。また、重点取組は、第2回の指導力向上研修において事例として別紙にまとめ紹介させていただきます。)

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<p>【授業改善を通じた学力・学習意欲の向上】</p> <p>○全教諭が、児童の主体性を伸ばすことを意識した多様な選択肢や自己決定のある授業を実施する。</p> <p>○児童の実態に応じた個別最適な学びを提供する。</p>	<p>①校内研修による授業参観を実施する。</p> <p>②自由進度学習を取り入れた単元開発を、全教員が1単元以上行う。</p> <p>③NRTや全国学力・学習状況調査の結果の誤答分析による実態把握と改善計画の立案、共有。</p> <p>④NRTや全国学力・学習状況調査における正答率の低い問題の学び直しをするとともに、類似問題を実施する。</p> <p>⑤1人1人のつまずきに応じた指導をおこなうための時間を確保する。</p>	<p>①年2回以上</p> <p>②6～12月</p> <p>③6～8月</p> <p>④10～3月</p> <p>⑤年間</p>	<p>・Q-U2回目の学習意欲の数値(全学級で全国得点以上)</p> <p>・各学期まとめテスト平均値(全学級85%以上)</p> <p>(NRT評価要支援軍の児童3名の正答率の上昇)</p> <p>・類似問題の正答率(全学級80%以上)</p>
<p>【学級・学習集団づくり】</p> <p>○児童が自分で考え行動する場や自分たちで決めた目標やルールを達成させる場を設定し、自治的な学級集団づくりを行う。</p> <p>○月1回の生徒指導委員会で子どもの様子を交流し、要支援群に所属している子どもたちへの声掛けや対応の実際を学校全体で共有する。</p>	<p>①Q-Uの分析による実態把握と改善計画の立案。改善計画の共有。</p> <p>②毎月の生徒指導委員会において児童の様子との交流。</p> <p>③教職員間でのこまめな情報の交換や共有を日常的に行う。</p>	<p>①年間</p> <p>②年間</p> <p>③年間</p>	<p>・Q-U2回目の一次支援の数値の向上(全学年で1回目以上)</p>